

# 『ケアプランデータ連携システム』を活用した 生産性向上への取り組みと『進捗』



令和7年3月18日

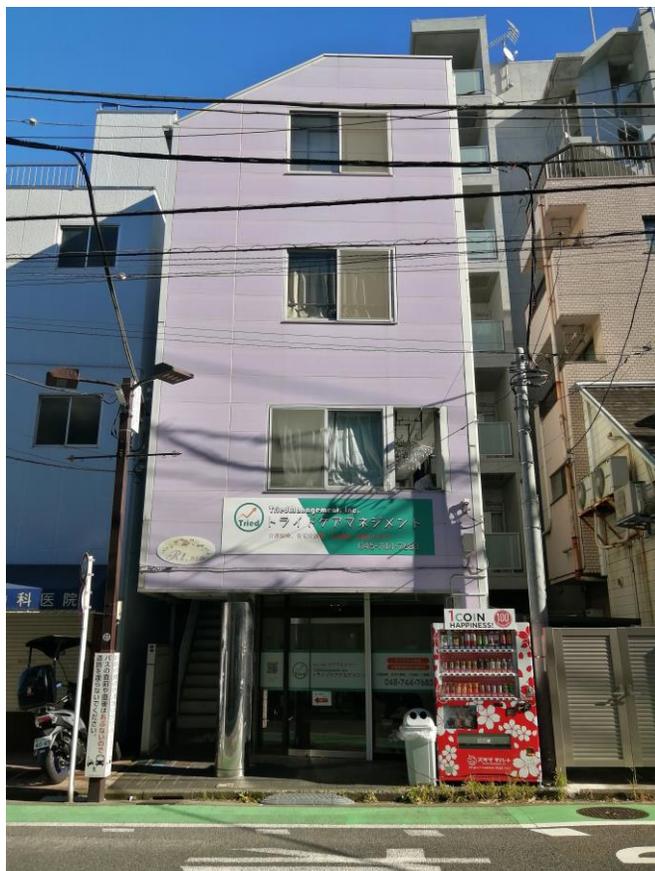
株式会社トライドマネジメント 代表取締役 長谷川 徹  
(単独型居宅介護支援 トライドケアマネジメント運営)

横浜市西区久保町20-17RTビル1階

<https://tried-management.co.jp/>

# 事業所・施設概要

- 2016年11月 (株)トライドマネジメント設立
- 2017年2月 単独型居宅介護支援事業所 トライドケアマネジメント開所



# 事業所・施設概要



## 【職員】

- ケアマネ10名
- 事務スタッフ3名

## 【取得加算】

- 特定事業所加算Ⅰ
- 医療介護連携加算

## 【利用者数】

- 370名

## 【取引事業者数】

- 250社

※令和7年2月現在

# データ連携システムを取り入れたきつかけ

## 《今までの効率化を求めた取り組み》

- 介護ソフト…クラウド型介護ソフト(トリケアトプス)
- 利用者宅での記録入力…モバイルPC+ SIM (モバイルネットワーク)
- テレワーク… モバイルPC、クラウド型サーバー(ドロップボックス)
- 情報伝達、共有、行動予定の管理…ビジネスチャット(ラインワークス)
- ヘッドセット…スマホにつなぎタイムリーな記録入力
- セキュリティ…UTMの導入
- 直行直帰…朝夕等の無駄な時間を削減
- 計画書や報告書…クラウド保存(トリケアドライブ)



# データ連携システムを取り入れたきつかけ

《今までの効率化を求めた取り組み》

- 事務スタッフの協力  
⇒ 事務スタッフがケアマネ業務の一部代行
- 上記のアイテムや取り組みは必須。  
※2021年の法改正から、**全員が通減制39→44件(要介護換算)**に変更。  
これらの取り組みで、**残業はほぼなし。**

【これだけやっても解決しない課題】

- 『**大量の紙業務**』に伴う、労力と経費問題。



# データ連携システム導入前の課題

《とにかく紙が多い》



- 毎月FAXで送る提供票の紙の量は利用者数が増えれば増える程膨大に。  
※毎月、2100枚
- ケアプランは印刷し郵送。  
⇒ 昨年10月～郵送代はUP。84円・94円共に110円。もはや郵送で送る意味があるのか？
- 事業所の規模にかかわらず、必ず労力と経費が掛かってくる。
- 介護保険制度開始から当たり前のように行われてきたローカル作業。

# データ連携システム導入前の課題

《お金をかけて紙を買い、お金をかけて捨てる**負のサイクル**》



- 紙の購入 → 印刷 → 事務スタッフが  
労力をかけFAXか郵送 → FAXについては、翌月シュレッター。

※毎月が負のサイクル  
※ごみの価格800円

⇒ このご時世、もう少し効率化できないものなのか？

# データ連携システム導入に向けた取組

《毎週のミーティングで周知》



- web上にUPされているケアプランデータ連携システムの内容を基に、
- 何ができて、どれだけ自分たちの時間や経費、労力が削減されるかを説明。

# データ連携システム導入に向けた取組

## 《毎週のミーティングで周知》

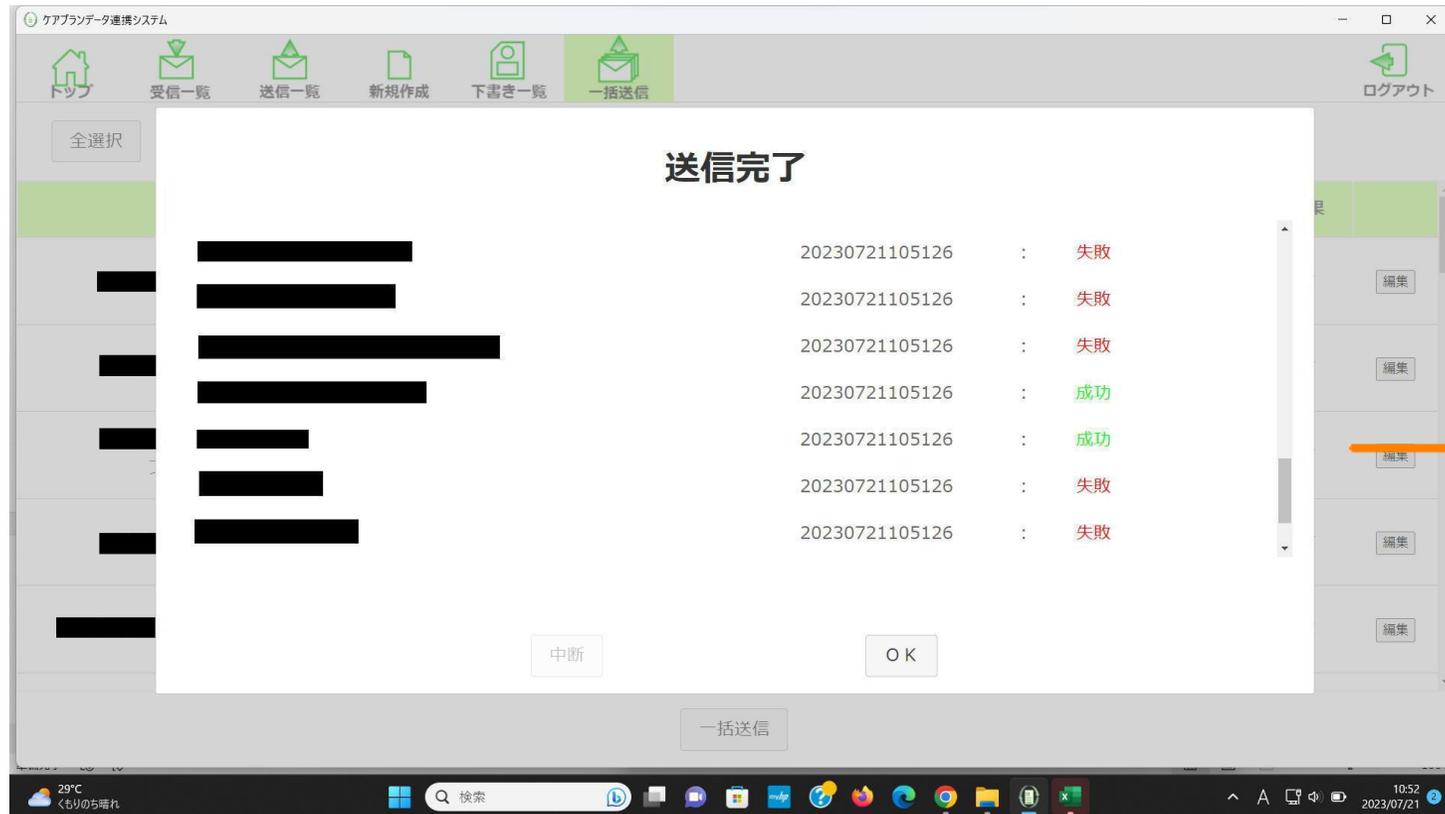
- スタッフに説明する際は、自分たちにとって**メリットがあるという事を根拠(提供票送付、ケアプラン送付、実績入力がデータで送受信できる、FAX・郵送から解放?)を明確にし説明。**
- 今までクラウド型介護ソフト・スマホ・タブレット・ビジネスチャット等を使って手間が省けた成功体験があり、見通しや根拠が明確があればスタッフの理解も早い。

⇒ やはり、やらない理由はない。

※ 導入の有無は、2024年度からは逡減制にもかかわる。

# データ連携システムの導入による効果

- 250社に370名分の提供票をケアプランデータ連携システムで送信したところ、かかった時間は30分程度。**1日かかりから30~35分に！時間の節約！事業所番号ごとの送信の為、誤送信がない。**マスキングも必要なし。



## データ連携システムの導入による効果

- R5年5月、初めて60名の実績の取り込みができ感動！**時間は数分**。本当にすごいと感じた！

	R5.5月	R6.3月	R7.3月
連携事業者数	2社	19社	36社
データ連携利用者数（PDF含む）	60名	141名	315名 （CSV:235名） （PDF：80名）
取り込み時間	5分	10分程	30分程

- ベンダー試験に合格していない介護ソフトは安定感が低く、上手くいかないことも多い。
- 取り込み時間は通信環境による
- 数が増えれば時間もかかるが、そのまま待っているだけで。

## データ連携システムの導入による効果

項目	導入前	導入後	今後の効果
提供票FAXの紙	2,100枚/月	1,380枚/月	更に削減できる
提供表FAXにかかる時間	4時間45分/月	2時間45分/月	更に削減できる
郵送にかかる労力（人件費）	7,224円/月（6h）	2,408円/月（2h）	更に削減できる
一か月の平均郵送代	13,500円/月	9,800円/月	更に削減できる
担当件数	40.5件（要介護のみ） 44.8件（要介護換算）	43.7件（要介護のみ） 45.8件（要介護換算） ※一人、要介護3～5件増	維持、それ以上

## データ連携システムの導入による効果

項目	導入前	導入後	今後の効果
1～10日までの平均訪問数	13件	18件（1.4倍UP、訪問件数が2倍になったCMも）	維持、それ以上
平均年収	451万円	491万円 （500万円超え2名誕生）	維持、それ以上
相談援助	大きなトラブルなし	大きなトラブルなし	維持
残業	ほぼなし	ほぼなし	維持
有給取得	取得率74%	取得率83%	維持、それ以上

# データ連携システムの導入による効果

《対応していない介護ソフトでも取り入れるメリットは大きい》

- ケアプランデータ連携システムの使い方はとても**簡単**。
  - 標準仕様によるCSVファイルの送受信は、**大きな労力削減**。
    - ⇒ CSVファイルは介護ソフトに直接取り込めるので、当然、紙やPDFよりもはるかに楽！
    - ⇒ 紙の使用、印刷、仕分けといった、労力と経費の無駄がない。
    - ⇒ 異なる介護ソフト間での連携でき、ケアマネだけが得をするのではなく、ケアマネとサービス事業者共に労力の削減につながる。
    - ⇒ **ケアプランデータ連携システムに対応していないソフトでも、PDFでの連携が可能**な為、導入するメリットは大きい
- ※理解している事業者がまだまだ少ない為、結局FAXと郵送で無駄な経費を使い続けているのが現状。

# データ連携システムの導入による効果

《対応していない介護ソフトでも取り入れるメリットは大きい》

データ連携対応の介護ソフト	CSV ⇔ CSV	ケアマネ・サービス事業所共に、お互いワンクリックでデータを取り込める為、とても簡単、便利、楽！
データ連携未対応の介護ソフト	PDF ⇔ 紙	①ケアマネはPDFで提供票を送る → サービス事業所は紙で印刷 ②サービス事業所は実績をPDFで送る → ケアマネは紙で印刷 ※両社、紙が半分に。 ※今後のデータ連携運用にも慣れることが出来る

# データ連携システムの導入による効果

## 《その他》



- 無駄を省く観点から、事務スタッフによるケアマネ業務の**一部代行が加速**した。  
⇒ 区役所への書類提出、アセスメント・担当者会議・プラン・認定調査等の下準備、新規相談の受付等。  
⇒ ツールで縮められるものはツールで、人にしかできないことは事務スタッフで、**ケアマネはケアマネにしかできないことをやる。**

# データ連携システムの導入による効果

## 《その他》



- 福祉用具事業者は、導入が早い傾向。  
⇒ 現在、福祉用具貸与の71%程が、データ連携でケアプランや提供票、実績を送受信している。  
⇒ 現在、福祉用具貸与、訪問看護の事業者選定基準は、
  - ①担当者は良い人
  - ②サービスの質が担保されている
  - ③データ連携対応事業者（無駄を省いてくれる事業者）

- 限られた時間で収益を上げ、スタッフに還元するには、無駄を省くことが絶対条件。取引事業者のデータ連携の有無はとても大事。

# データ連携システムを活用するための障壁と乗り越え方

## 【**労力と経費**の削減】

- ケアマネ、事務スタッフ共に大幅な**労力(時間)**の**削減**ができ、費用対効果が上がる。
  - ケアプランや提供票、実績がデータで送受信されることで、**ペーパーレス化**が進む。
- ⇒ 紙代、通信費、封筒等の**経費**の大幅な**削減**

## 【時間が空くことでできること】

- 余裕を持ったケアマネジメント
  - 相談援助の充実。
  - 新規が増え売り上げが上がる。
- ⇒ 会社によっては給与や賞与が上がるかも？
- 有給取得率のUP。
  - **事務スタッフの労力が削減**されると、**ケアマネ業務を一部代行**できる。
- ⇒ 区役所への更新申請、アセスメントや担当者会議の下準備、認定調査の下準備等

# データ連携システムを活用するための障壁と乗り越え方

【21,000円は高いのでは？】

- 年間、21,000円でパート事務スタッフ雇えると考えたら？
- ⇒ 絶対に雇えない。もはや激安。
- ⇒ 自治体によっては補助金がある。

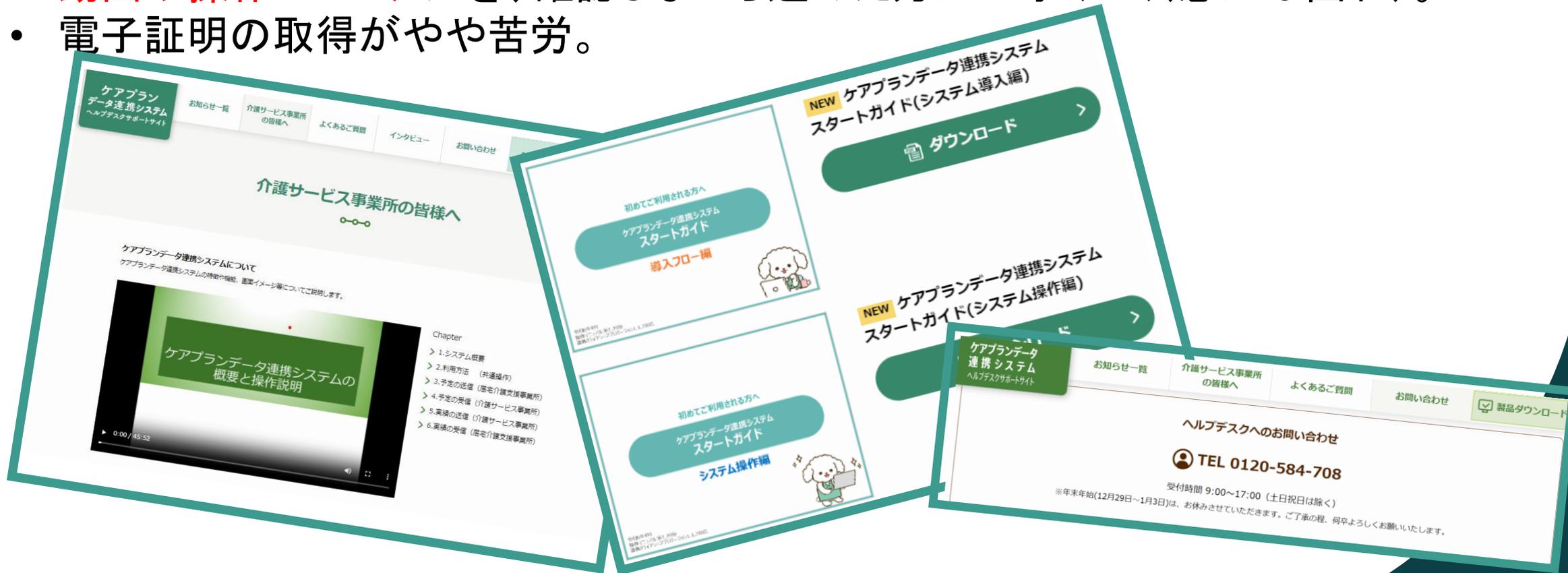
【忙しくて導入する時間がない？】

- 動画やマニュアルを見ながら対応すれば、たいして時間はかからない。その先のメリットの方がはるかに大きい。
  - ⇒ 提供票送付にかかる時間が著しく削減。
  - ⇒ 誤送信がなくなる。
  - ⇒ 誤送信がない為、マスキング不要。
  - ⇒ 郵送代は大幅に削減。
  - ⇒ 受理書への押印、署名が不要。 等
- ※導入後の**メリット**の方がはるかに大きい。

# データ連携システムを活用するための障壁と乗り越え方

【導入までの手順がわからない】

- **動画**や**操作マニュアル**を、確認しながら進めた方が上手くいく(急がば回れ)。
- 電子証明の取得がやや苦勞。



# データ連携システムを活用するための障壁と乗り越え方

## 【導入してもサービス事業所が導入しない】

- 介護保険の中心はケアマネ。居宅介護支援が導入しなければ、多くのサービス事業所は間違いなく動かない。まずはケアマネから！

### 横浜市の方針

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER  
YOKOHAMA

横浜市では可能な限り早期に  
市内の全事業所でシステムが導入・活用されている状態を目指す

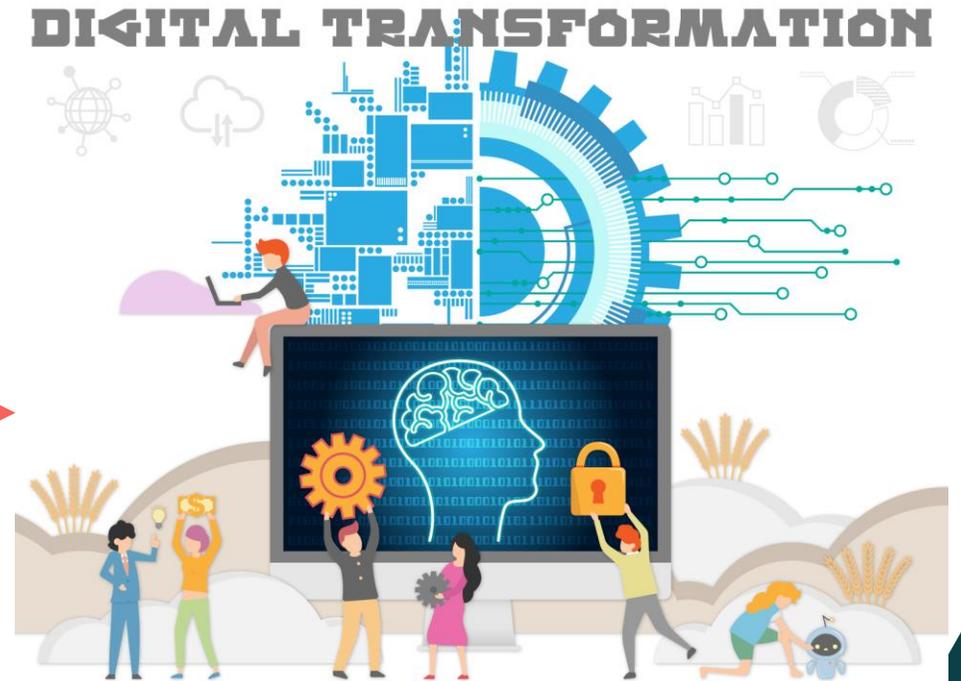
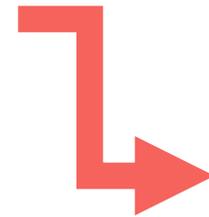
#### ◆目的

- システム導入により、介護事業所の業務負担を大幅に軽減
- 紙媒体やFAXを減らすことで、紙の管理コスト削減や情報漏洩リスクを低下
- 業務負担軽減で生み出した時間や人手の余裕を活用して、介護サービスの質の向上や従業者の処遇改善、ライフワークバランスの改善につなげる

- 多くの保険者が普及推進に動き出している。  
※弊社が事業運営する横浜市も普及推進に動き出している。

# これから実践しようとしている方へ

《今だからできること → **小さく始めて小さく成功**》



⇒ 人も介護ソフトも20年以上紙文化だったので、いきなり上手いかなかったって不思議じゃない。急に**ローカルからデジタルには変われない**為、取り入れる事業所が少ないうちから、小さく始めることで痛みを最小限に。

## これから実践しようとしている方へ



- 今一歩踏み出し挑戦することが出来たら、令和8年の**介護情報基盤**が始まって、きっと、**一歩踏み出せるはず**。
- ケアマネもサービス事業所も**DX化によるビジネスモデルの変革期(介護業界のデジタル化)**。つまり、変わることが求められている。

※時間はかかるかもしれないが、負担が減ればスタッフが喜ぶ、売り上げも上がる(\*´▽`\*)

# ご清聴ありがとうございました

## 【協力】

- トリケアトプス 近藤氏
- LAメディカルステーション 日向氏
- リハプライド保土ヶ谷 相原氏
- フロンティア横浜営業所 隅田氏
- 柴橋商会 介護用品新横浜営業所 木場氏
- トライドケアマネジメント スタッフ一同

## 【website】

- 野村総合研究所
- 厚生労働省 経済産業省
- 国保中央会
- 横浜市、愛知県
- メディコム
- ケアプランデータ連携システム ヘルプデスクサポート

